

平成21年度 予算

一般会計 116億7,580万円



「予算」ってご存知ですか。

簡単に言うと皆さんが納める税金の使い道です。平成21年度の豊前市予算は「施政方針」(2~4ページ)で紹介しました事業の推進をめざしています。

また、国、地方を通じる厳しい財政事情の中、これまで以上に効率的な運営や経費の節減を考えて予算をつくりました。

平成21年度の予算額は、一般会計が116億7,580万円、対前年度比2.9%増となっています。特別会計を含む総額では、177億1,751万円、同2.1%増となっています。

全会計予算額

(単位:万円、%)

区 分		21年度	20年度	増 減	伸率
一 般 会 計		116億7,580	113億4,560	33,020	2.9
特別会計	国民健康保険事業	38億6,114	35億4,296	31,818	9.0
	老人保健	1,154	4億1,742	△40,588	△97.2
	後期高齢者医療事業	4億2,204	4億0,332	1,872	4.6
	住宅新築資金等貸付事業	456	1,591	△1,135	△71.3
	公共用地先行取得事業	1,000	1,000	0	0.0
	豊前市営駐車場事業	780	860	△80	△9.3
	豊前市バス事業	4,053	4,080	△27	△0.7
企業会計	水道事業	7億5,926	7億0,008	5,918	8.5
	東部地区工業用水道事業	2,323	2,077	246	11.8
	公共下水道事業	8億4,738	7億8,873	5,865	7.4
	農業集落排水施設事業	5,423	5,330	93	1.7
総 額		177億1,751	173億4,749	3億7,002	2.1

予算の種類

市の予算には、3種類あります。使い道(予算)によって財布(会計)を分けているようなものです。

一般会計予算

一般会計は、皆さんが納めた税金や国、県からの補助金などを財源として、福祉や教育、道路整備などを行うための基本的な予算です。

特別会計予算

特別会計は、国民健康保険事業や後期高齢者医療事業など特定の事業を行うための予算です。豊前市には7つの特別会計があります。

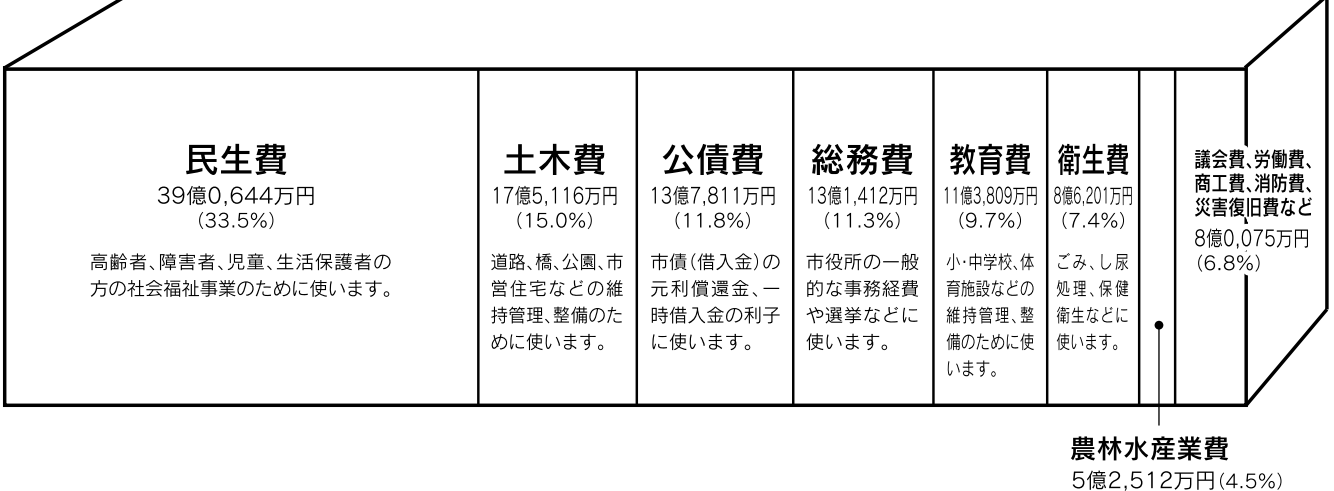
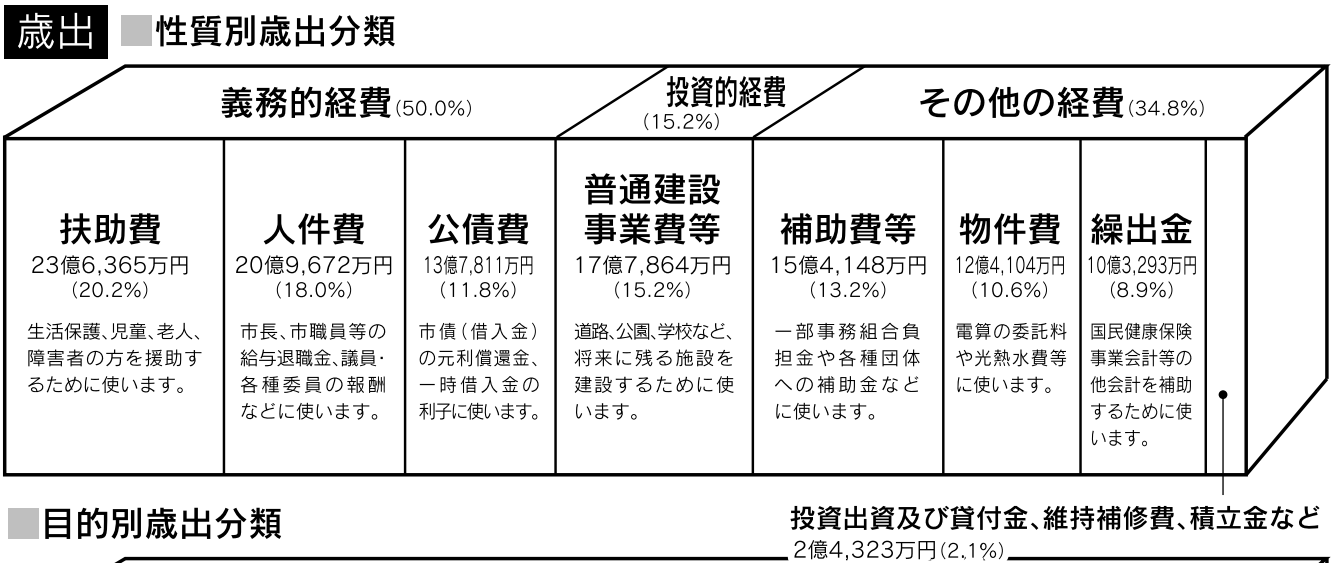
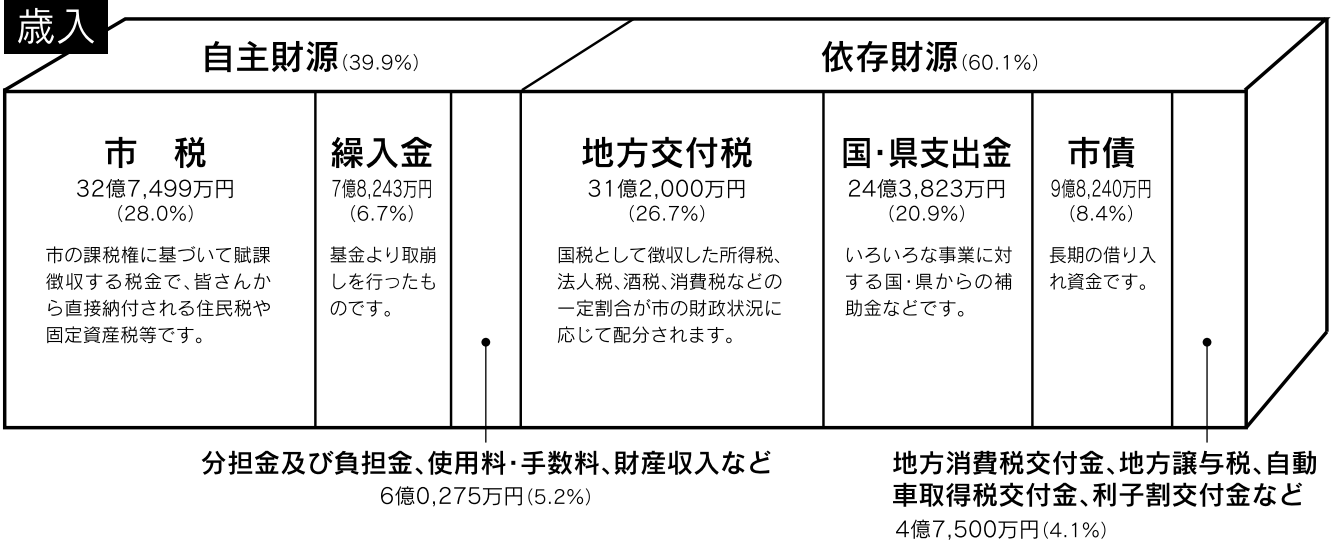
企業会計予算

地方公営企業法の適用を受けた企業会計として水道事業会計や公共下水道事業会計など4つの企業会計があります。

一般会計予算の概要

歳入／市税は法人税の減により全体で2.9%(9,642万円)の減収を見込んでいます。また、国庫支出金は住宅建設事業文化施設整備事業等の増のため9.2%(1億2,285万円)の増となっています。県支出金もふるさと雇用・緊急雇用対策事業の増等により28.0%(2億1,356万円)の増となっています。また、地方交付税は、地域雇用創出推進費の創設等により4.3%(1億3,000万円)の増収が見込まれています。一方、市債は臨時財政対策債が1億3,800万円の増、通常の起債は7,820万円の減となりました。

歳出／上町団地建替事業、宇島駅バリアフリー化設備整備事業等により土木費が17.9%(2億6,602万円)増え、教育費も東九州自動車道関連文化財発掘事業等により4.4%(4,826万円)の増となっています。公債費については、昨年は繰上償還をしたため対前年度で7.0%(1億0,354万円)の減となりました。



平成21年度の主な事業

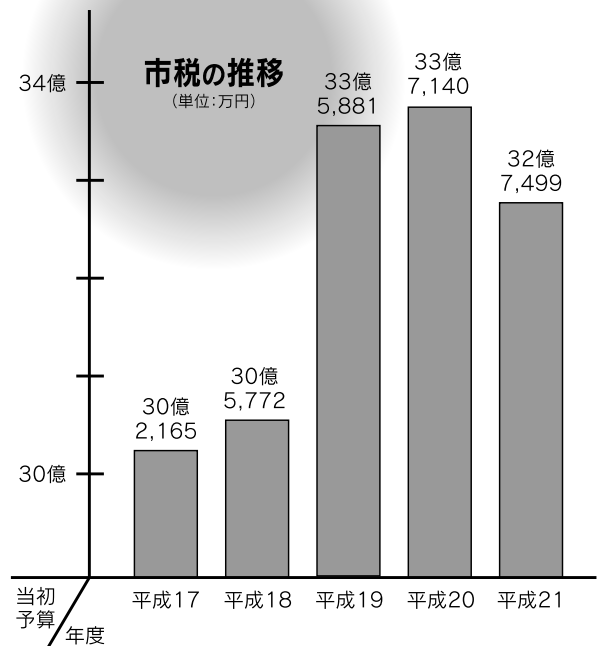
◎ 総務費	(単位:万円)
薬師寺宅地造成事業	600
市勢要覧作成費	400
投票人名簿システム開発費	241
◎ 民生費	
放課後児童クラブ運営事業(拡充)	5,164
次世代育成支援対策行動計画策定費	290
◎ 衛生費	
妊婦健康診査助成事業(5回 → 14回)	2,777
健康管理システム開発費	546
合併浄化槽設置事業補助金	3,146
◎ 農林水産業費	
農業振興地域整備計画策定費	800
景観農業振興地域整備計画策定費	310
森林・林業・木材産業づくり事業	7,366
広域基幹林道豊築松尾線開設事業	3,103
荒廃森林再生事業	4,115
◎ 商工費	
地方消費者行政活性化基金事業	465
◎ 土木費	
道整備交付金事業	2億6,000
上町～沓川池線街路事業	1億0,000
上町団地建替事業	4億7,600
都市計画マスタープラン更新費	1,100
都市再生整備計画策定費	500
◎ 消防費	
防災ハザードマップ作成費	360
消防自動車購入費	780
◎ 教育費	
角田小学校耐震診断事業	380
八屋中学校耐震診断事業	930
子ども夢応援事業	100
文化施設整備事業(図書館等)	2億4,660
求菩提山保存管理計画策定事業	467
東九州自動車道関連発掘調査事業	4,500
求菩提山史跡整備事業	1,250



整備が始まる旧築上北高校跡地

市税32億7,499万円

[市税の内訳]	[単位:万円]	[伸率%]
市民税	12億9,928	△7.2
固定資産税	17億5,780	0.3
軽自動車税	6,410	5.3
市町村たばこ税	1億5,380	△3.3



予算用語解説

◎歳入と歳出

これは一般家庭の収入と支出にあたるもので次のような性質や目的に分類されます。

◎自主財源と依存財源

歳入(収入)でよく使われるのが「自主財源」と「依存財源」です。自主財源は、市税のように市が自主的に調達できる財源です。

自主財源の比率が大きいほど行政の自主性が確保されます。

一方、依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源です。

◎性質別分類と目的別分類

歳入(支出)の見方として予算を使った性質ごとに分類した性質別分類と使う目的ごとに分類した目的別分類の二つがあります。

性質別分類は、市の財政運営や経済的機能状況を知ることができます。目的別分類は、どのような事業にいくら使うかを知ることができます。